(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3143704号
(U3143704)
(45)発行日　平成20年7月31日(2008.7.31)　(24)登録日　平成20年7月9日(2008.7.9)

(51)Int.Cl.			F I		
A45C	3/02	(2006.01)	A45C	3/02	F
A45C	3/00	(2006.01)	A45C	3/02	A
			A45C	3/00	A

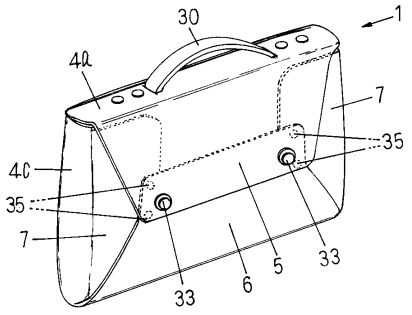
評価書の請求 未請求　請求項の数 5　ＯＬ　（全 8 頁）

(21)出願番号　実願2008-3340(U2008-3340)
(22)出願日　平成20年5月22日(2008.5.22)

(73)実用新案権者　000142159
株式会社協和
東京都千代田区東神田２丁目１０番１６号
(74)代理人　100069062
弁理士　田代　和夫
(72)考案者　若松　種夫
東京都千代田区東神田２－１０－１６　株式会社協和内

(54)【考案の名称】手提げかばん

(57)【要約】　（修正有）
【課題】縫製工程をなくして、構成が簡単で作業性のよい手提げかばんを提供する。
【解決手段】一枚のかばん素材に設けた背面部の周縁に、マチ部４を介して蓋板部５、前板部６および左右両側の折返部７をそれぞれ一体に連設して形成し、このかばん素材の折返部７をそれぞれ内側に折り曲げ、次いで前板部６を上方へ折り返し、該前板部と前記折返部７とを重合させ、該重合部分を止金具３５固着し、上面を開口して形成したかばんＣの上面を前記背面部に連設した蓋板部５で覆うと共に、該蓋板部と前記前板部６とに設けた留金具３３で開閉可能に留着して形成してある。
【選択図】図１



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
背面部（３）の周縁に、マチ部（４）を介して上方に蓋板部（５）、下方に前板部（６）および左右両側に折返部（７、７）をそれぞれ一体に連設したかばん素材（２）を形成し、該かばん素材（２）の折返部（７、７）をそれぞれ内側に折り曲げ、次いで前板部（６）を上方へ折り返し、前記折返部（７、７）と前記前板部（６）との両側に位置する重合部分を止金具（３５、３５）固着して上面を開口したかばん（Ｃ）を形成し、該かばん（Ｃ）の上面を前記背面部（３）に連設した蓋板部（５）で覆うと共に、該蓋板部（５）及び該前板部（６）に設けた留金具（３３）で開閉可能に留着してなることを特徴とする手提げかばん。
【請求項２】
前記かばん素材（２）は、中央に位置した背面部（３）の上方に蓋マチ部（４ａ）を介して蓋板部（５）を連設し、背面部（３）の下方に底マチ部（４ｂ）を介して前板部（６）を連設すると共に、前記底マチ部（４ｂ）の略両端に一対の平行な切込部（１１）を形成し、前記背面部（３）の両側にはそれぞれ側マチ部（４ｃ、４ｄ）を介して折返部（７、７）を連設し、前記底マチ部（４ｃ、４ｄ）の下端には前記底マチ部（４ｂ）の切込部（１１）に挿通させる掛止片（１２）をそれぞれ一体に設け、前記折返部（７、７）の下端には前記底マチ部（４ｂ）上に敷設させる内底部（１５）をそれぞれ一体に設けてなることを特徴とする請求項１記載の手提げかばん。
【請求項３】
前記かばん素材（２）は、前記蓋マチ部（４ａ）の表面側中央に把手部（３０）を取付け、前記背面部（３）の上部両側に肩ベルト（４０）を着脱可能に連結する吊金具（２７）を取付け、前記背面部（３）の上方左右方向に形成した窓部（２０）の内側に設けた袋状のポケット部（２１）に形成した表開口部（２１ａ）に前記窓部（２０）の表側からスライドファスナー（２２）を開閉可能に取付け、前記背面部（３）の裏側には、かばん（Ｃ）の内側からスライドファスナー（２６）を開閉可能に取付けた内開口部２６ａを具えた内ポケット（２５）を前記ポケット部（２１）と共に前記かばん（Ｃ）内に設けたことを特徴とする請求項１または２記載の手提げかばん。
【請求項４】
前記かばん素材（２）により形成したかばん（Ｃ）は、前記背面部（３）に連設した蓋板部（５）で上面を覆うようにすると共に、前記前板部（６）の両側に取付けた雄金具（３３ａ）と、前記蓋板部（５）に取付けた雌金具（３３ｂ）とからなる雌雄一対の留金具（３３）で着脱可能に留着することを特徴とする請求項１に記載の手提げかばん。
【請求項５】
前記かばん素材（２）の前板部（６）と折返部（７、７）とを折り曲げて形成した重合部分の左右位置の上下をそれぞれ止金具（３５、３５）で固定してなることを特徴とする請求項１に記載の手提げかばん。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は、一枚のシート地を縫製することなく折り畳んで形成する手提げかばんの改良に関する。
【背景技術】
【０００２】
従来、手提げかばんや肩掛け兼用の手提げかばんの多くは、それぞれ背板、底板、前板、蓋板およびマチ部などの各パーツをそれぞれ所定のサイズに裁断し、前記パーツをそれぞれ縫製工程を分けて縫製することにより手提げかばんを形成している。
【０００３】
そのため、かばんが出来上がるまでの縫製作業は、多数のパーツを繋ぎ合わせるために多くの工程を経て作業を行うため、きわめて手間隙がかかり非能率であると共に、出来上

がった手提げかばんの縫製部分が使用に取る経年変化によるほつれや、型崩れを防止するため手提げかばんの角や縁部分に補強片を取付けて形成している。

【０００４】

そのため、手提げかばんは、前記したごとく完成までに多くの縫製工程を必要とし手間隙がかかり非能率的であると共にコストが高く不経済で、且つ、手提げかばんの角や縁部分に補強片を取付けるなど、かばん自体が重くなるなど多くの問題点を有している。

【０００５】

そこで、手提げかばんの製造工程において、かばんを形成するための皮革または合成皮革などからなるシート地をパーツごとに裁断することなく、一枚のシート地に背面部、底板部、蓋板およびマチ部などを連続的に形成して裁断し、各パーツを互いに折り曲げて重ねて縫製することなく結合して形成する手提げかばんが知られている（参考文献１）。

【特許文献１】特開平７－３２２９０９号

【０００６】

この手提げかばんは、一枚のシート地に背面部、底板部、蓋板およびマチ部などを連続的に配置させて裁断して形成しているが、各パーツの折り目を折り曲げやすくするため折り目部分に浅い切れ目をそれぞれ設け、さらに一方のマチ部には、折り返し片部を設け、該折り返し片部とマチ部の外縁に深い切れ目を設けて折り返し片部をマチ部に重合可能に形成し、前記深い切目部分には、前記折り目部分が切断するのを防止するため当該部分を縫着補強して形成してある。

【０００７】

そのため、手提げかばんを完成させるための最低条件であるシート地に把手部やポケット部を取付けるほか、折り畳みやすくするための切れ目や互いの側マチ部を連結するために設けた多数の孔、更には切れ目の切断を防止するための補強縫合など、多数の作業工程必要として組み立て前のシート地状態で多くの下準備が必要となり面倒であり、極めて作業性が悪かった。

【０００８】

また、組み立て工程においても、一方のマチ部に他方のマチ部を挟んで互いのマチ部に設けた係合孔を合致させ、さらに前記係合孔にそれぞれ止金具を連結して形成するため、手間がかかり非能率的であると共に、多くの止金具を使用するためかばんの重量が重くなるなど多くの問題点を有している。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【０００９】

そこで、本考案は、一枚のシート地からなるかばん素材に、背面部の周囲に底板部と蓋板と左右の折返部をそれぞれマチ部を介して連続して一体に形成し、裁断する点は共通するが、それぞれの折り目部分に切込部を設けたり、マチ部に補強縫合をしたり多数の係合孔を設けることなく、あたかも一枚のふろしきで包むのと同じように折り込んで形成することにより軽量で型崩れを生じない丈夫で経済的な手提げかばんを提供するものである。

【課題を解決するための手段】

【００１０】

上記課題を達成するために本考案は、背面部３の周縁に、マチ部４を介して上方に蓋板部５、下方に前板部６および左右両側に折返部７、７をそれぞれ一体に連設したかばん素材２を形成し、該かばん素材２の折返部７、７をそれぞれ内側に折り曲げ、次いで前板部６を上方へ折り返し、前記折返部７、７と前記前板部６との両側に位置する重合部分を止金具３５、３５で固着して上面を開口したかばんＣを形成し、該かばんＣの上面を前記背面部３に連設した蓋板部５で覆うと共に、該蓋板部５及び該前板部６に設けた留金具３３で開閉可能に留着してなることを特徴とする。また、前記かばん素材２は、中央に位置した背面部３の上方に蓋マチ部４ａを介して蓋板部５を連設し、背面部３の下方に底マチ部４ｂを介して前板部６を連設すると共に、前記底マチ部４ｂの略両端に一対の平行な切込部１１を形成し、前記背面部３の両側にはそれぞれ側マチ部４ｃ、４ｄを介して折返部７

、７を連設し、前記底マチ部４ｃ、４ｄの下端には前記底マチ部４ｂの切込部１１に挿通させる掛止片１２をそれぞれ一体に設け、前記折返部７、７の下端には前記底マチ部４ｂ上に敷設させる内底部１５をそれぞれ一体に設けてなることを特徴とする。さらに、前記かばん素材２は、前記蓋マチ部４ａの表面側中央に把手部３０を取付け、前記背面部３の上部両側には肩ベルト４０を着脱可能に連結する吊金具２７を取付け、前記背面部３の上方左右方向に形成した窓部２０の内側に設けた袋状のポケット部２１に形成した表開口部２１ａに前記窓部２０の表側からスライドファスナー２２を開閉可能に取付け、前記背面部３の裏側には、かばんＣの内側からスライドファスナー２６を開閉可能に取付けた内開口部２６ａを具えた内ポケット２５を前記ポケット部２１と共に設けたことを特徴とする。さらにまた、前記かばん素材２により形成したかばんＣは、前記背面部３に連設した蓋板部５で上面を覆うと共に、前記前板部６の両側に取付けた雄金具３３ａと、前記蓋板部５に取付けた雌金具３３ｂとからなる雌雄一対の留金具３３で着脱可能に留着することを特徴とする。さらにまた、前記かばん素材２の前板部６と折返部７、７とを折り曲げて形成した重合部分の左右位置の上下をそれぞれ止金具３５、３５で固定してなることを特徴とする。

【００１１】

上記の構成を有するため、一枚の素材を所定形状に裁断して形成したかばん素材２の左右両側の折返部７、７をそれぞれ内側に折り曲げ、次いで前板部６を上方へ折り返して前記折返部７、７と重合させ、該重合部分の任意箇所を止金具３０で固着して上面を開口したかばんＣを簡単に形成することができ、さらに該かばんＣの上面を前記蓋板部５で覆って留金具３３で開閉可能に留着することにより、縫製作業をすることなく型崩れしないで丈夫で軽量な手提げかばんを製造することができる。

【考案を実施するための最良の形態】

【００１２】

以下、本考案の実施の形態を図面に基づいて説明すると、図１は本考案にかかる手提げかばんの斜視図、図２はかばん素材の表面側展開図、図３はかばん本体の内面側展開図、図４はかばん素材を組み立てた状態を示す斜視図、図５は底マチ部の切込部に側マチ部の掛止片を挿通した状態を示す要部拡大断面図、図６は底マチ部の切込部に側マチ部の掛止片を挿通した状態を示す平面図、図７は折り返し部に前板部を重合して止金具で固定したかばんを形成した状態の斜視図である。

皮革、合成皮革などからなる一枚のシート状の素材を任意形状に裁断して形成するかばん素材２は、図２に示すごとく、中央に位置した背面部３の上方に蓋マチ部４ａを介して蓋板部５を連設し、背面部３の下方に前記蓋マチ部４ａと同巾の底マチ部４ｂを介して前板部６を連設すると共に、この背面部３の両側にはそれぞれ側マチ部４ｃ、４ｄを介して折返部７、７をそれぞれ連設して一体に形成してある。このかばん素材２の周囲を折り重ねて重合させて止金具３５で固定して手提げかばん１を形成する。

【００１３】

前記底マチ部４ｂの両端には、それぞれ並行に形成した一対の切込部１１を設け、同じく前記側マチ部４ｃ、４ｄの下端にそれぞれ形成した掛止片１２、１２を一体に形成し、該掛止片が前記切込部１１内に差し込んだ後に抜け出るのを防止している。さらに、前記折返部７、７の下端には前記底マチ４ｂと同巾の内底片１５をそれぞれ一体に連設し、前記底マチ部４ｂの切込部１１に差し込んだ掛止片１２の上面を覆って該掛止片１２が底マチ部４ｂ上に露出しないようにしてある。

【００１４】

かばん素材２を展開した表面側に、図２に示すごとく、背面部３の上方（蓋マチ部側）に窓部２０を左右方向に横長に形成し、該窓部の内側には布地など公知の素材からなる袋状のポケット部２１の上部を取付けてある。このポケット部２１の上部には、前記窓部２０の裏面側に設けた表開口部２１ａにスライドファスナー２２をで開閉可能に装着してある。

【００１５】

さらに背面部３の上方であって前記窓部２０の上部両側部分に吊金具２７、２７を取付け、該吊金具に肩ベルト４０の端部にフック部４２、４２を連結可能に形成し、さらに、蓋マチ部４ａの中央両側部分に設けた切込口４ｄ、４ｄに把手部３０の両端部分を挿入してピン４５、４５で固着してある。

【００１６】

前記蓋板部５と前板部６との重合部分の左右位置に一対の留金具３３をそれぞれ取付け、前板部６には雄金具３３ａを、蓋板部５側には雌金具３３ｂをそれぞれ取付けて着脱可能に形成してある。

【００１７】

かばん素材２を展開した裏面側（内面側）には、図３に示すごとく、窓部２０の表側から開閉するポケット部２１と、かばんＣの内側から開閉する内ポケット部２５を重ねて取付け、該内ポケット部２５の上方位置に該かばんCの内側からスライドファスナー２６で開閉可能に形成した内開口部２６ａを設けてある。

【００１８】

３５は、かばん素材２の前板部６と折返し部７、７との重合部分を固定してかばんＣを形成するための止金具で、該止金具には、はとめや鋲やその他公知の止金具を使用することができる。４０は長さ調節可能に形成した肩ベルトで、帯部４１の両端にそれぞれなす環４２を取付け、該なす環を前記バッグ本体２の吊金具２７に着脱可能に連結することにより、手提げかばん１をショルダーかばんとして使用することもできる。なお、図３のかばん素材２の展開図に示す破線は、かばん素材２に一体に形成した各部を判り易くするために設けて境界線（折目）を示すものである。

【００１９】

以下、本考案の実施形態の作用について説明すると、皮革または合成皮革からなる一枚の素材を裁断して形成するかばん素材２は、図２に示すごとく、表面側にあらかじめ蓋マチ部４ａの上面に把手部３０を取付け、背面部３の上方に設けた窓部２０の上方両側（蓋マチ部側）に吊金具２７を取付けることができる。前記窓部２０の内面側には、該窓部の表側からスライドファスナー２２を操作して表開口部２１ａを開閉するポケット部２１と、かばんの内側からスライドファスナー２６を操作して開閉する内開口部２６ａを具えた内ポケット２５をそれぞれ取付けてある。

【００２０】

次いで、図４に示すごとく、背面部３と底マチ４ｂとの間を内側に折り曲げてから側マチ部４ｃ、４ｄの下端に設けた掛止片１２を内側に折り曲げると共に、該掛止片の先端掛止部１３を、図５、６に示すごとく、底マチ部４ｂの切込部１１に内底側から差し込んで一度底面外側に出し、再度内側に差し込んで幅広に形成した先端掛止部１３を切込部１１に掛止させる。したがって、幅広の先端掛止部１３が切込部１１に掛止して側マチ部４ｃ、４ｄが外方向に広がることがなく、背面部３の両側部分において直角方向に折り曲げた形状に固定させることができる。

【００２１】

また、折返部７、７の下端に連設した内底部１５を内側に折り曲げ、さらに、折返部７、７と前記側マチ部４ｃ、４ｄとの間を内側にそれぞれ折り曲げ、前記内底部１５を前記掛止片１２の上面に位置させて差込み部分を上方から覆うことにより掛止片１２の露出を防止することができる。

【００２２】

前記折返部７、７を内側にそれぞれ折り曲げた後、図7に示すごとく、前板部６を底マチ部４ｂの端部から上方に折り曲げて立ち上げて前記左右折返部７、７の外面に重ね、前記前板部６と折返部７、７の重合部分の左右両側を少なくとも一箇所以上、好ましくは上下２箇所を、はとめや鋲などの止金具３５で固定することにより、上方が開口したかばんＣを形成することができる。前記かばんＣには、携帯電話や身の回りの小物などの他、ノートパソコンや書類などを収容することが可能である。

【００２３】

前記かばんＣの上面には、背面部３の上方に位置した蓋板部５を蓋マチ部４ａとの間を折り曲げて先端部分を前記前板部６の上面に重ねると共に、前記前板部６に取付けた雄金具３３ａと、蓋板部６に取付けた雌金具３３ｂとからなる留金具３３で開閉可能に着脱させることにより前記かばんＣを開閉可能に形成することができる。

【００２４】

以上のごとく、所定形状に裁断した一枚のかばん素材２を使用して、恰もふろしき包と同じように背面部３の両側と上下両側を順番に折り曲げ、最後に前板部６と前記折返部７、７との重合部分の左右２箇所づつ、はとめや鋲などの止金具３５で固定するだけの簡単な作業でかばんCを形成することができる。さらに、部品数を少なくすることにより構成が簡単であるから、作業性を一段と向上させることができるにもかかわらず丈夫で型崩れせず、軽量で取り使いの容易な手提げかばんを提供することができる。

【００２５】

さらに、図8に示すごとく、前記かばん素材２の背面部３に設けた吊金具２７に、肩ベルト４０の両端に設けたなす環４２を着脱可能に連結することにより、前記手提げかばん１を肩掛けかばんとして使用することもできる。

【図面の簡単な説明】

【００２６】

【図１】本考案にかかる手提げかばんの斜視図である。

【図２】かばん素材の表面側展開図である。

【図３】かばん素材の内面側展開図である。

【図４】かばん素材を組み立てた状態を示す斜視図である。

【図５】底マチ部の切込部に側マチ部の掛止片を挿通した状態を示す要部拡大断面図である。

【図６】底マチ部の切込部に側マチ部の掛止片を挿通した状態を示す平面図である。

【図７】折り返し部に前板部を重合して止金具で固定してかばんを形成した状態の斜視図である。

【図８】本考案の手提げかばんに肩ベルトを連結した状態の背面図である。

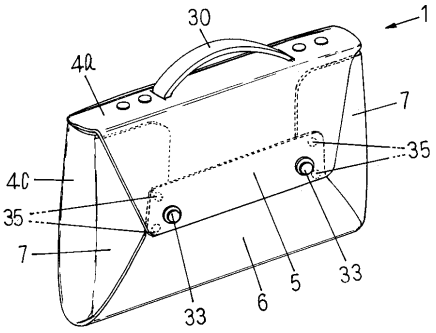
【符号の説明】

【００２７】

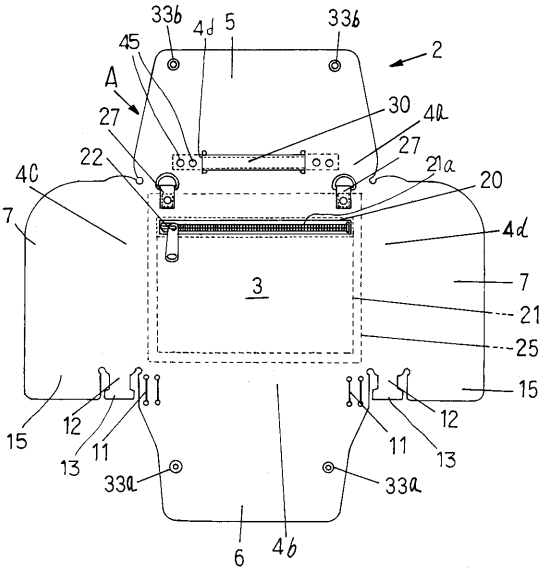
２　かばん素材
３　背面部
４　マチ部
４ａ　蓋マチ部
４ｂ　底マチ部
４ｃ　側マチ部
４ｄ　側マチ部
５　蓋板部
６　底板部
７　折返部
１１　切込部
１２　掛止片
１５　内底部
２０　窓部
２１　ポケット部
２１ａ　表開口部
２２　スライドファスナー
２５　内ポケット部
２６　スライドファスナー
２６ａ　内開口部
２７　吊金具

３０　　把手部
３３　　留金具
３３ａ　雄金具
３３ｂ　雌金具
３５　　止金具
４０　　肩ベルト
Ｃ　　かばん

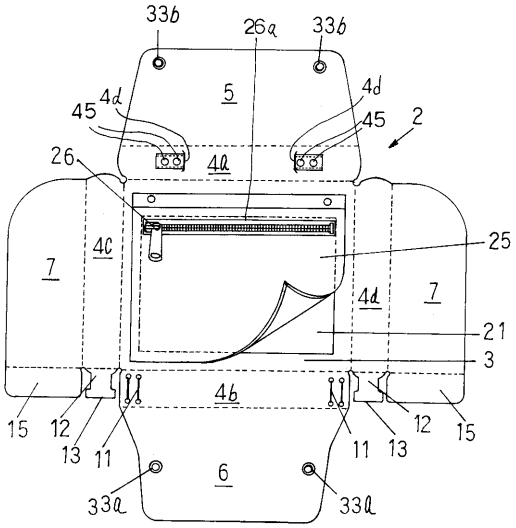
【図１】



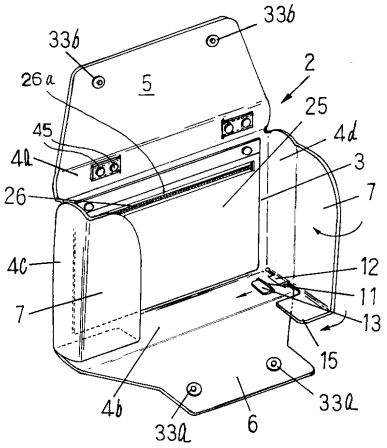
【図２】



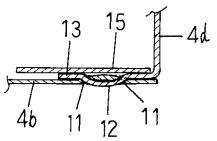
【図３】



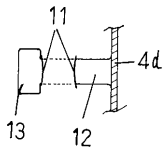
【図４】



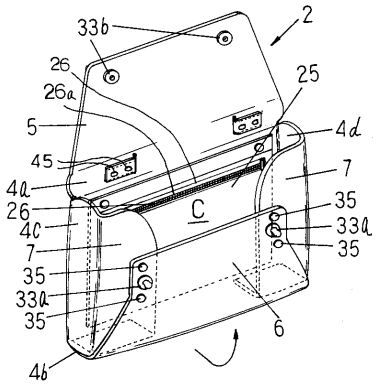
【図５】



【図６】



【図７】



【図８】

